

県大教職員組合ニュース 第95号

2018 (第1号) 2018年7月12日発行

静岡県公立大学教職員組合執行委員会
Tel & Fax 054-265-7231 E-mail office@shizunion.jp

第12回定期大会開催される！

第12回定期大会が2018年6月25日(月)に静岡県立大学小講堂にて開催されました。本学教職員組合は2007年3月30日に結成大会を行い、早12年目を迎えます。

ご出席いただいた組合員の方々、また、委任状をご提出いただいた組合員の方々には、心より御礼申し上げます。たいへんありがとうございました。

2007年4月以降、法人化後の大学の教育・研究環境、そして、大学を取りまく社会情勢など、今、大学を取り巻く状況は大きく変わってきております。また、大学の老朽化など、早急に取り組まなければならない課題も山積しております。

武藤執行委員長は、2018年度活動方針として以下の4点をあげ説明し、全会一致で承認されました。

1. 教職員の任期に関する問題への取り組み
2. 教育・研究環境の整備
3. 教職員の経済的問題の改善
4. 過半数組合としての組合活動の充実

組合集會では、学内の部局等が抱えている課題の情報共有が改めて重要であることを強く感じました。今回の集會の成果を、今後の大学発展に繋げましょう。

以下、第12回定期大会の議事運営報告を掲載いたします。円滑な議事進行にご協力いただき、本当にありがとうございました。

1 議長団選出

司会の福島副執行委員長による開会の挨拶の後、議長団を選出した。会場からの立候補を募った後、執行部からの推薦により議長に剣持氏(国際関係学部)、副議長に増田氏(食品栄養科学部)が提案され、満場一致で選出された。

2 大会の成立について

出席者数を確認して委任状の数を合計したところ、開会時点にて組合員数234名の過半数を超える149名の参加が確認され、大会の成立が宣言された。

3 来賓あいさつ

(静岡大学教職員組合 執行委員長 根本猛様)

現在、静岡大学では、3年または5年を経過した非常勤職員や有期雇用職員の雇止めが問題となっている。これらの職員の再雇用に対して、大学側は「TOEICの点数が高い職員は再雇用する」など、非常識な条件を提示している。また、アジア地域の学生を静岡大学に留学させる『アジアブリッジプログラム』が走っており、特任として採用した日本語教育や日本事情などを担当する教員が、来年3月のプログラム終了時に雇止めになる可能性も浮上している。そのため、これらの雇止めを阻止し、雇用を継続することが課題である。これからも静岡県立大学の教職員組合と交流を行い、労働環境の改善に努めていきたい。

4 執行委員長挨拶

まず、熊澤執行委員長より挨拶があり、「1年間の組合活動をふりかえって」と題する挨拶(趣旨は「議案書」1ページに掲載)がなされた。

5 議事

第1号議案

・2017年度活動報告(「議案書」13~19ページ)

熊澤執行委員長より、2017年度(2017年6月26日~本日)の活動概要について、スライドを用いて報告がなされた。審議の結果、満場一致で承認された。具体的な活動方針の総括は、「議案書」19~23ページに掲載の通りである。

1) 教育・研究環境の整備について

- ・施設・設備の老朽化や不具合について、エビデンスをもとに大学側に整備を要求し、そのうちの一部が実現した。

2) 人事制度の整備について

- ・短大部に勤務する有期雇用職員の再雇用について、大学側と2回の団体交渉を行ったが、大学側は「要

綱」を根拠に再雇用の無効を主張しており、あっせんの交渉が続いている。

- ・10年を経過した助教の再雇用への道筋が開かれた。

3) 外部資金間接経費の有効利用と教育・研究の発展

- ・現在、外部資金の間接経費は、産学連携や出納に携わる職員の給与に充てられているが、これが適当か見直しを検討中である。

4) 過半数組合としての組合活動の充実

- ・過半数の維持と組合活動の充実に努めてきた。

第2号議案

・2017年度決算報告(「議案書」24ページ)

江上委員(2017年度会計)より、2017年度の決算(収入7,264,813円、支出3,001,061円、差し引き4,263,752円の翌年度繰り越し)が報告された。なお、予算と異なる費目として、備品費(事務機器購入費用など)は出費がなかったこと、予備費はWebサイトの業者を変更して節約に努めたことなどの説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第3号議案

・2017年度会計監査報告(「議案書」27ページ)

2017年度監査委員(経営情報学部 大久保氏、食品栄養科学部 新井氏)のうち、大久保委員より会計監査の結果が報告され、使途及び会計処理が適正であることが確認された。また、公認会計士の白岩先生による「合意された手続き 実施報告」(「議案書」25, 26ページ)がなされたことについて報告があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案

・2018年度役員選出について (「議案書」28~29ページ)

選挙管理委員の小郷尚久議長により、2018年度執

行部役員について会場から立候補を募った。立候補者がなかったため、福島副執行委員長より 2018 年度執行部役員の執行部案が提示され、無記名による信任投票が行われた。2017 年度の選挙管理委員会による開票の結果、信任多数で執行部案が信任された。

その後、同様に 2018 年度監査委員および選挙管理委員について会場から立候補を募った後、執行部案が提示され、無記名による信任投票が行われた。開票の結果、信任多数で執行部案が信任された。

これらにより、2017 年度執行部役員及び監査委員の解任が宣言された。

第5号議案

・2018 年度活動方針（「議案書」30～31 ページ）

武藤新執行委員長から、2018 年度の活動方針が説明され、満場一致で承認された。主な内容は、1. 教職員の任期に関する問題への取り組み、2. 教育・研究環境の整備、3. 教職員の経済的問題の改善、4. 過半数組合としての組合活動の充実である。

第6号議案

・2018 年度予算（案）（「議案書」32 ページ）

江上委員（2017 年度会計）より、2018 年度予算

（案）について説明があり、収入 6,904,002 円、支出 3,655,000 円（内訳：事務費 1,710,000 円、活動費 1,710,000 円）の予算案が提案され、満場一致で承認された。

質疑応答

➤ 薬学部 菅氏より、あっせんが継続している元短期大学の有期職員は現在どうしているのか。また、職員の組合加入率ほどのくらいか
佐々木副執行委員長 → 元職員は、現在静岡市内でアルバイトをしている。職員の組合加入率は、現在のところ 0 である。

6 新執行委員長・執行委員の挨拶

武藤新執行委員長から、組合活動に対する理解と協力を願う旨の挨拶があった。

7 閉会

剣持議長によって全ての議事の終了が確認され、閉会が宣言された。

以上

2018 年度役員が決定いたしました

第 12 回定期大会で、以下のとおり、執行委員・監査委員・選挙管理委員が決定いたしました。任期は第 13 回大会（2019 年 6 月末開催予定）までとなります。組合の運営には組合員皆様ひとりひとりのご協力が必要となります。なにとぞよろしくお願いいたします。

執行部（13 名）

執行委員長	武藤 伸明	経情
副執行委員長	杉山 眞澄	看護
副執行委員長	佐々木 隆志	短大
書記長	橋本 博	薬
書記次長	新井 映子	食栄
書記次長	飯野 勝己	国際
会計	澤崎 宏一	国際
会計補佐	舘山 光一	短大
会計補佐	刀坂 泰史	薬
執行委員	井本 智明	経情
執行委員	福島 恭子	看護
執行委員	小林 公子	食栄
執行委員	丹羽 康夫	食栄

監査委員（2 名）

監査委員	高畑 幸	国際
監査委員	中澤 秀一	短大

選挙管理委員（3 名）

選挙管理委員	斎藤 貴江子	食栄
選挙管理委員	大久保 誠也	経情
選挙管理委員	三崎 健太郎	看護

【組合加入の呼びかけ！】

又、各部局で未加入の教職員の方々への加入の呼びかけ等、よろしくお願いいたします。

ご意見をお寄せください！

執行委員会では、本学の労働環境の改善について、組合として解決策を模索し、法人側との交渉をねばり強く続けていきます。できるだけ多くの皆様のご意見・ご提案を反映する形で法人側との交渉を進めてまいります。ぜひとも各部局の執行委員、あるいは組合の電子メールアドレス (office@shizunion.jp) まで、忌憚のないご意見・ご提案をお寄せください。組合事務局は、月、水、金曜日 10:00~16:00 職員が常駐しております。よろしくお願いいたします。